

	<p style="text-align: center;">編 集 発 行</p> <p>平成17年11月29日発行 第362号 東京都立中学校事務職員会 代 表 戸上輝世（足立区立西新井中） 編 集 佐藤重雄（板橋区立加賀中） 連絡先 〒173-0003 板橋区加賀 2-19-1 03(3964)1954 八木（八王子）平井（東村山）吉野（清瀬） 大川（葛飾）横山（江戸川）福田（足立） 森田（青梅）</p>
---	---

東京都立学校事務職員研究協議会第41回(小・中・都立)研究大会のご案内

来る12月13日(火)東京都教職員研修センター(目黒)において東京都立学校事務職員研究協議会第41回(小・中・都立)研究大会が開催されます。

中学校は、大田支部が第2分科会を担当します。記念講演は「災害時における学校職員の役割 新潟中越地震を経験して」、講師は、全国公立小中学校事務職員研究会新潟支部長 金井洋子様です。

1人でも多くの参加をお待ちしております。

第2分科会(中学校担当)

テーマ「事務補助臨時職員問題と事務室における個人情報保護対策」

発表者 大田区立中学校事務職員会

「区費事務職員の配置の見直し」から事務室体制が激変し、正規の職員に代わって配置された臨時職員の雇用や制度上の問題点、今後の課題と解決への道のりなどを、他区市町村の状況などとの比較から明らかにする。また、社会的にも問題になっている“個人情報の保護”について、学校事務職員としてどのように考え扱えば良いのか、現状を踏まえながらひとつの形を提案する。

第1分科会(小学校担当)

テーマ 「朝顔セットはなぜ売れるのか」

公費私費負担区分調査から教材費を問う

私費徴収金が「第二の税金」と保護者にとらえられるようになり、地区によっては、私費負担軽減に努めるよう提言がなされ、各学校でも具体的努力が始まっている。そうした実情を報告する。

「東京都義務教育学校運営費標準」の解釈・受け止めの実態が地区あるいは学校によって、相当異なっていることが調査の結果判明した。昭和42年に公費確保を求めて出されたこの趣旨が逆の縛りになって学校配当金からの公費支出が可能であっても、私費徴収を行っている実態も見受けられる。

義務教育はこれを無償とする、としている憲法の理念の実現を目指して、実現を阻む問題の在り所を知り、あるべき姿を考察したい。

第3分科会(都立学区担当)

テーマ「『学校組織マネジメント』とは何か」

企業や自治体で実施されている組織マネジメントのエッセンスをほんの少しですが、ご紹介します。変化に対応した新しい学校づくりのノウハウを獲得していただき、学校運営の改善に少しでもお役に立てればというのが目的ですが、肩肘張らずに「組織マネジメント」に触れてみてください。概論と演習を行います。時間があればまじめな雑談もしましょう。

学校事務研究会（講演会）のお知らせ

研修委員会では、来る12月19日（月）午後2時から国立オリンピック記念青少年センター（センター棟研修室4F409）において講演会を開催いたします。

「外国人からみた国際理解教育」をテーマに、ルイス・カルロス・セベリッチさんに講演をお願いしています。

ルイス・カルロス・セベリッチさんは、「ロス・トレス・アミーゴス」のリーダーとして南米民俗音楽をとおして、数々の学校訪問や、少年院の慰問をしている方です。彼の体験をとおして「国際理解教育」を語って、演奏していただきます。多数の方々のご参加をお待ちしております。

研修委員会

各委員会の事業報告

広報委員会

会報第362号を発行いたしました。今回は、都立学校で最初の中学校を中心に、小中東京都立研究大会のご案内を会員の皆様に報告いたします。また、近々、会報臨時増刊号「私の体験したディズニーマジック・感動を呼ぶサービス」（8月8日研修会の内容）を発行する予定です。ご期待下さい。

今後の予定

362号	本	号	
363号	1月	発行予定	都公中事研究大会の案内等
364号	3月	発行予定	都公中事研究大会の報告等
研究収録	2月10日	発行予定	都公中事研究大会 当日
小中高研究大会「記録集」		3月	発行予定

教えてください！

『東京都立白鷗高等学校附属中学校』

平成 17 年 10 月 20 日(木)、東京都立白鷗高等学校附属中学校を訪問しました。

当日はお忙しい中、事務室長の安部和夫様に対応いただき、皆さまから広報委員会に寄せられた質問内容にお答えいただきました。

質問の内容と回答は次のとおりです。

『質問 1. 中高一貫教育校とはなんですか』

中高一貫教育校とは、中学校から高校までの 6 年間で継続してじっくり学ぶことができる学校です。6 年間にわたる一貫した教育活動を計画的・効率的に行うことにより、学力や教養を身につけ将来、社会の様々な場面、分野でリーダーとなりうる人材を育てていきます。



東京都立白鷗高等学校附属中学校

『質問 2. 中学校の事務室の職員配置と高校との事務分担について教えてください。』

事務職員は、西校舎である白鷗高校にあります。職員数は、中学校の基準と高校の基準を合算した数で配置され、計 7 人です。

さらに校舎が離れている等の条件で中学校に嘱託員が 1 名ついています。嘱託員は、週 3 日勤務(月、水、金)です。嘱託員のいない火、木は高校から交代で勤務しています。いわゆる、中高一貫を理由とした加配はありません。

『質問 3. 中学校の予算と高校の予算は、どのように配分して学校運営をしているのですか。』

予算は高校が高等学校費、中学校が小中学校費を配付されています。例えば、共通開催の学校行事に伴うものについては、どちらの経費で支出するかを予算編成時に検討します。予算が足りなくなったときは、高校では学校数が多数ありますので予算が余っている学校からまわしてもらえますが、都立中学校は、本校しかありませんのでそれができません。

『質問 4. この学校は、他の都立学校と比べて仕事をしてみていかがですか。違う点を教えてください。』

全ての職員が兼務となっております。例えば、予算の執行にあたっては光熱水費や役務費及び委託料など毎月の継続支払いも 2 つずつ書類を作成することになります。特に大変なのが、入学選抜(中学校では、適性検査といわれています)で、制度の違う 2 つの業務が同時期に行われます。都立学校には、全日制と定時制を 1 つの事務室で実施している例も多くあります。それよりは複雑ですが、やりこなしています。

何しろ、都立学校初めての中学校として注目を浴びていることから、一貫校としての成果をあ

げるべく使命感と緊張感をもてるところが良さでしょうか。

『質問 5. 中学校には、職員会議のほかには企画委員会あるいは運営委員会があります。白鷗中学校の場合どういう風に職員会議、企画委員会あるいは運営委員会に事務職員が参加していますか。』

本校のコンセプトの1つに組織の一体化があります。職員会議も企画調整会議(といいます)も中高が同席して実施しています。現在は、その会議に事務室長(管理職)・庶務係長・経理係長が参加して、学校経営の一役を担っています。

『質問 6. 白鷗高等学校附属中学校は中高一貫校の中で、どういう形態になっていますか。』

中高一貫校の設置形態は、次のように3つあります。

1. 中等教育学校

一つの学校として、6年間を通じて中高一貫教育を行う学校。中学にあたる前期課程と高校に当たる後期課程とからなっています。6年間の一貫教育を行うために、後期教育からの生徒募集は行いません。

2. 併設型の中学校・高校

都立中学校と都立高校の2つの学校を接続します。併設型の中学校から、併設型の高校へは、入学試験を受けずに進学できます。併設型の高校は、他の中学校卒業者を対象に一般募集も行います。

3. 連携型の中学校・高校

いろいろなタイプの都立高校が区市町村立中学校と連携して、中学生が高校レベルの学習をしたり、高校生が中学校で勉強したことを、改めて学習したりするなど、各学校において、特色ある教育を行います。行事や部活動などでも高校生と中学生の交流を行います。

都立白鷗高等学校附属中学校は、2の併設型の中学校・高校に該当します。

『質問 7. 学校の施設は、台東区の施設だと思いますが、現在中学校の施設は、どこが管理しているのですか。』

ご指摘の通り、台東区の施設を東京都が借り上げています。使用料および賃借料は都教委が支払っていますが、施設の管理は、学校事務室が通常の学校と全く同様に都教委より予算配付に基づいて維持管理しています。

『質問 8. 義務教育学校には就学援助制度があります。白鷗高等学校附属中学校はそういう制度がありますか。また、学校給食もありますか。』

就学援助制度は区市町村が行うべきものと、設置者が行うべきものがあります。都では設置者として、給食費と特定疾病を指定医療機関で受診した場合の2つの制度に限り実施しています。その他の事業は、生徒の保護者が直接区市町村に申請する用にアナウンスしています。なお、認定基準は、申請に基づき、生活保護家庭およびそれと同等の家庭です。学校給食は、牛乳(40円)を全員に出していますが、弁当(300円、材料費相当)は選択制です。入札により決定した業者に委託して配給しています。メニューは、都教委の栄養士が作成し、それに基づいて作成

しています。予約方式で、一週間前までに構内に設置した専用プリペイドカードで行います。従って給食費の未納はあり得ません。喫食率は70～80%です。

材料から指定していますので、食の安全については十分に配慮されています。

『質問 9. 中学校の建物に正規の事務職員が常時いないとのこと、来客対応はどうされていますか。』

本校は、機械警備を実施しており玄関前のインターフォンにより、職員室において施錠の開閉を行っております。また、いわゆる用務主事業務を民間委託しており、その職員が湯茶などを出す場合があります。



プリペイド機

『質問 10. 運動会等学校行事について事務職員等行政職員は、どのように参画していますか。』

通常の都立高校と同じレベルの接し方です。公費・私費の経理や施設整備の管理などです。

『質問 11. 授業のことでお聞きいたします。高校と中学を掛け持ちで教えている先生はいらっしゃいますか。』

中高一貫とは、一人の生徒を6年間一貫して教育するということですから、教員は原則として、中1から高3まで指導できなくてはなりません。現在は、生徒数が大幅に違うため高校のみの先生も多数いますが、両方教えるのが原則です。

『質問 12. 中学生と高校生の交流は、どのようにしておられますか。』

本校では、中1から高3といわず、1学年から6学年といえます。また、部活動も合同で高校生が中学生を指導したりしています。生徒会も中高で一つです。PTAも一つです。運動会も合同で実施しました。合唱コンクール、文化祭そして芸術鑑賞教室も一緒です。

年齢差の大きい集団の中で育てるのもこの学校のコンセプトの一つです。

『質問 13. 白鷗中学校を卒業した生徒は、全員無条件で白鷗高校に入学できるのでしょうか。』

制度からいって、その通りです。

『質問 14. 欠員補充、転入はありますか。』

定数以上募集はしませんが、在籍数が定数を割った場合には、中学校では学年末の募集が考えられます。高校は、学期ごととなります。中学三年時は、高校受験となります。

『質問 15. 白鷗高等学校は、白鷗中学校を卒業した生徒以外の受け入れもありますか。』

高等学校は、一学年 6 学級です。中学校は、一学年 4 学級です。したがって、二学級 80 人を都内在住の中学卒業・見込み者から募集します。また、クラス編成は 4 年生の段階で、中学からの生徒と混在させる予定です。

『質問 16. 入学選抜は、中学校と高校と 2 つあるのですか。』

中学校の場合、公立中学校は学力で入学者を選抜してはならないことになっていますので、「適性検査」を行います。

入選業務は、両方あります。特に、16,17,18 年度は高校 6 学級 240 人（推薦・一般学力）と中学 4 学級 160 人（特別枠・一般枠）があり、量も多く複雑になっております。

『質問 17. 白鷗中学校の通学区域は都内全域ですか。また現在は、生徒はどの辺りから通学されていますか。多い地域と一番遠い地域を教えてください。』



東京都立白鷗高等学校

都立学校ですから、学区域は都内全域となります。他府県の方は原則として、受験できません。また、入学をしてから他府県に転居した場合も原則として、転学していただくことになります。

最も多い地域は、足立区です。旧 5 学区が中心です。地元の台東区は思ったほど多くありませんでした。今年は全員が 23 区内でした。

最後に、お忙しい中お時間をいただきました事務室長の安部様に厚く御礼申し上げます。

平成 18 年度入学者決定方法について（予定）より

	一般募集（平成 18 年 2 月 3 日）	特別枠募集（平成 18 年 2 月 1 日）
募集人員	160 名（男子・80 名、女子・80 名）	
	男子・女子各 80 名から、特別枠募集で決定した男女別に差し引いた数。	16 名以内 区分 A：10 名程度 国語・算数・英語 区分 B：6 名程度 囲碁・将棋・邦楽・邦舞・演劇
書類審査	応募者が多数になった場合は、書類審査を行う。	
検 査	適性検査 思考力、判断力、表現力を生かして課題を解決する総合的な力を見る。 適性検査 課題を発見し、それを解決する方法について、自分の考えや意見を正しく表現し、的確にまとめる力を見る。	区分 A：面接 区分 B：面接、実技検査 * 特別枠場集の応募基準の詳細については本校に問い合わせてください。